福岡県立田主丸特別支援学校　第46号

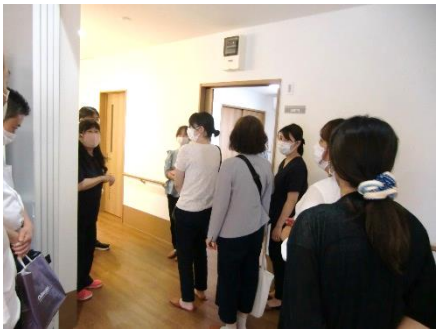
進　路　だ　よ　り

令和4年12月19日発行　文責　進路指導主事　古賀　基樹

【施設見学】　７／２７・２８

今年度の施設見学は、新型コロナウイルス感染症への対応を行った上で、７月に「基山・久留米・朝倉コース」と「柳川コース」の２回を実施することができました。

■７／２７　基山・久留米・朝倉コース（１０名参加）



「ＰＩＣＦＡ」（三養基郡基山町）では、職員の方より、事業所の説明をしていただき、事業所内や利用者の方の創作活動の様子を見学しました。「ＰＩＣＦＡ」は 2017 年にオ―プンした就労継続支援Ｂ型事業所で、絵を描くことやアート作品の創作活動を仕事として位置づけている、地域にあまりない就労サービス系の事業所でした。

「＋ｙｏｕ」（久留米市北野町）では、昼食とともに、職員の方より、事業所の説明をしていただき、利用者の方のお菓子作りの様子を見学させていただきました。

「こがね園」・「グループホーム すまいる」（朝倉市）では、職員の方より、事業所の説明をしていただき、２つの事業所を見学させていただきました。

今回の見学をさせていただいた３つの法人の事業所はどれも特徴のある事業所であり、児童生徒の卒業後の生活を考えていく上で大変参考となる事業所でした。　（進路主導主事・古賀）

■７／２８　柳川コース（１０名参加 ）

「ワークショップ　はぁもにぃレストラン暖輪」（柳川市中町）では、昼食とともに、職員の方より事業所の説明をしていただきました。調理補助やお菓子作り、軽作業などの施設内作業だけでなく、工場内作業や清掃作業など施設外就労も提供されています。

「たからばこ　第１宝箱」（柳川市三橋町）では、職員の方より事業所の説明と見学をさせていただきました。落ち着いて過ごせる環境やそれぞれに合わせた作業内容など工夫されていました。

今回の見学をさせていただいた２つの事業所ともに様々な作業を提供したり、作業の一部分でも携われるように工程を考えたりするなど利用者の方が働く喜びを実感し、一人一人が活躍できるように取り組まれていました。　（キャリア教育課・徳永）

【中学部　進路に関する体験学習】　夏休み中

約３年ぶりに「進路に関する体験学習」を夏休みに実施しました。今年度は３名の生徒が福祉施設で、作業体験や余暇活動、見学を行いました。報告会では、体験活動の内容や頑張ったこと、楽しかったことを発表し、友達が体験したことを聞くことで体験学習を知ることができました。小学部からも５名の児童が参加し、有意義な報告会となりました。　（キャリア教育課・吉田）

7/25 久留米市・ウェルフェアマリア

7/25 小郡市・風の丘

7/22 久留米市・楓樹

報告会

【進路講話】　９／１６

９月１６日の授業参観日と合わせて進路講話を行いました。保護者と職員を対象として、令和３年度本校高等部卒業生の保護者（２名）を講師にお招きし、「進路決定に至るまで」と題してお話をしていただきました。

今回の講話ではコロナ禍による影響を大きく受け、施設実習が思うようにできなかったことや卒業後の進路先の利用が白紙になって不安や悩みを抱えて過ごした経験などをお話しされました。その中で「通院先や訓練等の施設先で会う保護者同士の会話で励まされたり、助けられたりしたこと」、「計画通りにはいかないこともあるので、早め早めの行動をしておくこと」、そして最後にみなさんに伝えたいこととして「親がいつケガや病気になるかもわからないので、子どもが安心して暮らせる場所を探しておくことが大事だと思います」と話されていました。また、「お子さんのことで悩みや不安を抱えてある保護者の方はたくさんおられると思います。みんな同じようなことで悩んでいてうちも同じでした。一人じゃないんですよ」とお言葉いただき、進路講話を終えることができました。最後になりましたが、ご出席いただきました保護者の方、ＰＴＡ会長はじめ役員の皆様、アンケートへの回答及びご協力ありがとうございました。　（キャリア教育課・片岡）

【高等部　産業現場等における実習（後期）】

後期の産業現場等における実習を９月と１１月に実施しました。実習は生徒の実態に応じて１～４日間で行い、生徒たちはめあてをもって実習に臨みました。今回はその中の一部をご紹介します。

（進路指導主事・古賀）

■「風の丘」：９／１５・１６、１１／２４・２５

「風の丘」（小郡市）は、生活介護、就労継続支援Ｂ型、放課後等デイサービス、グループホームのサービスを提供している事業所です。

Ａさんは６月に引き続き、９月と１１月に２日間ずつ実習を行いました。１１月の実習の初日には、スタッフの方の顔を見て笑顔になったり、自分から手を伸ばしてスキンシップをとろうとしたりする様子が見られました。２日目の午前中は穏やかに過ごし、朝の会にも笑顔で参加することができました。スタッフの方からも、「１回目や２回目の実習よりも、慣れてきた様子が見られました」とお話をいただきました。

■「楓樹（かえで）」：１１／１５～１８

「楓樹」（久留米市）は、社会福祉法人 悠光会が運営している事業所で、生活介護のサービスを提供しています。

Ａさんは昨年度「楓樹」で３日間の実習をしており、今回が２回目の実習となりました。前回の実習では個別空間に移動して過ごすこともありましたが、今回の実習では不安定になったときも、他の利用者の方たちと一緒の空間の中で過ごし、落ち着くことができました。また、食事では、スタッフの方が付き添い、自分でスプーンを口に運んで食べることができました。２回目の実習ということもあり、施設の雰囲気やスタッフの方に慣れてきた様子も見られました。